

第13回 米国インターネット広告市場視察団 ～アドイノベーター 織田浩一氏同行～

◆ はじめに

本年も、「ad : tech ニューヨーク」の開催時期に合わせて、この分野で先を行く米国市場への視察団のツアーご手配を用意いたしました。米国においてインタラクティブ広告を専門にご活躍中の、織田浩一氏のコーディネートによる、最前線の現地情報のセミナーや、インターネット広告最前線の企業への訪問を予定しております。米国企業の最新動向を直に検証いただける貴重な機会として、是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。

◆ 視察テーマ

【ニューヨーク アドテク・イノベーションの源泉】テクノロジー事業開発ではこれまでシリコンバレーが一歩進んでいたが、今日では多くのアドテク・ソーシャル・モバイル・データ関連企業や新規メディア企業がニューヨークで生まれている。ニューヨークには広告主、エージェンシー、メディア企業が新しいアドテクノロジーを求めており、顧客がすぐ近くにいる環境で開発を進められることにメリットがある。さらにインキュベーション施設も数が増えており、新たな世代のテクノロジー、新規メディア企業が次々と育っている。今回のツアーではそのようなアドテク・イノベーションを生み出す環境と周辺にある主要プレイヤーを訪れる。

◆ J I A A ツアーの特徴

- ① ad : tech キーノート中にご参加者様だけがご覧いただけるチャットアカウントをご用意し、セッション内容をレポートいたします。
- ② さらにキーノートのまとめレポートを作成し、Facebook のグループページを通じて皆様へお配りいたします。
- ③ 「ad : tech」視察時の通訳は2名体制とし小グループでの個別ブース訪問に対応いたします。
- ④ リアルの場と Facebook グループページを通じてご参加者様同士の横のつながりを構築し、帰国後もより一層の関係構築が可能です。

◆ 基本日程表

	月日(曜)	地名	現地時間	交通機関	スケジュール	食 事
1	2013年 11月 4日 (月)	成 田 空 港	8:00	NH010	JTBカウンター前ご集合(第1ターミナル南ウイング) チェックイン手続き終了後、待合室にて結団式 ※添乗員1名 全行程同行いたします。 空路、直行便にてニューヨークへ 【所要時間約13時間、時差-14時間】	朝: 機内
		東 京 発	11:00			~ 国際日付変更線通過 ~
2	11月 5日 (火)	ニ ュ ー ヨ ー ク (JFK) 着	9:30	専用車	到着後、「入国審査・通関・荷物受取」(60~90分程度) ガイドとともにホテルへ移動(約45分) ホテル到着 到着後、自由昼食 ホテル内会議室にて織田氏によるセミナー(2時間程度) セミナー終了後、自由行動 夕食:ご自由にお召し上がりください (ニューヨーク 泊)	昼: ×
			10:30頃			夕食: ×
			13:30			
3	11月 6日 (水)	ニ ュ ー ヨ ー ク	午前	専用車	朝食:ホテル内 通訳:1名が帯同いたします。 企業視察① 企業視察② 昼食:ご自由にお召し上がりください 企業視察③ 企業視察④ 夕食:ご自由にお召し上がりください (ニューヨーク 泊)	朝: ○
			午後			昼: ×
4	11月 7日 (木)	ニ ュ ー ヨ ー ク	午前	専用車	朝食:ホテル内 ad tech NY視察 ジェイコブ・ジャビッツ・コンベンションセンター 655 West 34th Street New York, NY 10001 通訳:2名が帯同いたします。 キーノートプレゼンテーション参加 ブース訪問① ブース訪問② 昼食:ご自由にお召し上がりください ad:tech自由視察 夕食:現地レストラン 織田氏も参加し初日企業訪問と初日アドテックのまとめ兼 参加者懇親会 (ニューヨーク 泊)	朝: ○
			午後			昼: ×
5	11月 8日 (金)	ニ ュ ー ヨ ー ク	午前	専用車	朝食:ホテル内 通訳:1名帯同 企業訪問⑦ 企業訪問⑧ 午後:自由行動 夕食:全体夕食会(現地レストランにて) (ニューヨーク 泊)	朝: ○
			午後			昼: ×
6	11月 9日 (土)	ニ ュ ー ヨ ー ク	8:00	専用車	朝食:ホテル内 ガイドとともに空港へ移動(約45分) 空路、直行便にて東京へ移動 【所要時間約14時間30分】 (機内泊)	朝: ○
		ニ ュ ー ヨ ー ク (JFK) 発	11:15			昼: ×
7	11月 10日 (日)	東 京 (成 田) 着	15:25		成田国際空港着 到着後、流れ解散	朝: 機内

上記スケジュールは航空会社、訪問先等の都合により変更となる場合がございます。予めご了承のほど、よろしくお願いいたします。
利用ホテル：ニューヨーク/スカイラインホテル
利用航空会社：NH（全日本空輸）

☆時間帯の目安

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜	
04:00	06:00	08:00	12:00	16:00	18:00	23:00	04:00

- 旅行期間：2013年11月4日（月）～11月10日（日）＜5泊7日＞
- 訪問都市：ニューヨーク
- 旅行代金：【会員企業様】 大人お1名様 640,000円（ツインまたはダブル1名1室ご利用）
【非会員企業様】 大人お1名様 680,000円（ツインまたはダブル1名1室ご利用）
※上記旅行代金以外に、燃油サーチャージ（目安47,000円）が別途必要となります。
また、海外空港諸税（概算5,870円）、国内空港施設使用料（2,040円）および旅客保安サービス料（500円）が別途必要になります。（いずれも8月1日現在の額です。）
- 募集人員：25名様
- 最少催行人員：15名様（この人数に達しない場合、当視察団の催行を中止する場合がございます。）
- 添乗員：日本から全行程同行いたします。
- 利用ホテル：ニューヨーク・スカイラインホテル ※いずれもツインまたはダブル1名1室利用
- 日本発着時利用航空会社：全日本空輸（NH） ※エコノミークラス
- 食事条件：朝食5回、昼食0回、夕食2回
※ビジネスクラス追加料金：別途お問合せ下さい。）
- 申込締切：2013年9月13日（金）

【旅行代金に含まれるもの】

- (1) 旅行日程に明示した当該クラス航空運賃、観光・視察代金（バス料金、ガイド・通訳料金、入場料金）
- (2) 旅行日程に明示した宿泊代金（ツインまたはダブルお1名様1部屋利用）及び税・サービス料
利用ホテル：ニューヨーク・スカイラインホテル
- (3) 旅行日程に明示した食事料金（朝5回、昼0回、夕2回/機内食を除く）
- (4) 手荷物運搬料金（原則としてお1名様につきエコノミークラス20kg、ビジネスクラス30kg以内のスーツケース1個まで）
- (5) 現地セミナーに関する費用（会場代金、通訳代金、講師料金）
- (6) ad:tech New York 登録料：「Keynote Pass（300\$分）」開催中における全てのキーノートセッションおよびエキスポホール内への入場が可能なパスです。
- (7) 団体行動に必要なチップ、ポータレージ関係諸費用
- (8) 渡航手続書類作成代行費用
- (9) 添乗員同行費用

【旅行代金に含まれないもの】

- (1) 食事時の追加飲物、電話、電報、クリーニング等個人的費用とそれに関わる諸費用（税金・サービス料・チップ等）
- (2) パスポート取得費用：印紙代8,000円（5年用）、13,000円（10年用）、証紙代2,000円（5・10年用）
- (3) 電子渡航認証システム（Electronic System for Travel Authorization: ESTA）登録代行料金（4,200円）、ESTA登録料14ドル
- (4) 超過手荷物料金（規定の重量、容量、個数を超える分）
- (5) 日本国内における自宅から発着空港までの交通費、宿泊費
- (6) 任意で加入する海外旅行保険及び外貨代金
- (7) 燃油サーチャージ（目安47,000円）、国内空港施設使用料（2,040円）および旅客保安サービス料（500円）、海外空港諸税（概算5,870円）（※いずれも8月1日現在の額です）

参加申込方法

- ・ 別紙参加申込書を下記宛ご郵送またはFAXにてお送り下さい。
- ・ お申込書到着後、申込金100,000円のご請求書を送付させていただきますので、お振込み口座をご確認の上、指定の期日までにお振込み下さい。
- ・ 当社が契約の締結を承諾し、申込金の受理をもって旅行契約が成立します。
- ・ 申込金は旅行代金、取消料の一部として取り扱います。
- ・ 残金は別途ご請求書をお送り致しますので、2013年10月31日（木）までにお振込み下さい。

企画協力：一般社団法人 インターネット広告推進協議会（JIAA）
〒104-0041 東京都中央区新富2-1-7 富士中央ビル9F



旅行企画・実施：株式会社 JTB コーポレートセールス 観光庁長官登録旅行業第1767号 / 一般社団法人 日本旅行業協会正会員
〒163-1065 東京都新宿区西新宿3-7-1

【現地同行者のプロフィール】

織田浩一（おりた こういち）

米シアトルを拠点とし、日本の広告・メディア企業、商社、調査会社に向けて、欧米での新広告手法・メディアテクノロジー・IT調査・企業提携コンサルティングサービスを提供。また宣伝会議・日経BPでのコラム執筆、年間30以上の社内講演や一般講演をこなす。最近ではマーケティング・広告分野でのアルファブロガーとも言われている。また、日本のアルファブログネットワーク Agile MediaNetwork の社外取締役として、日本における新たなネットビジネス、ネットマーケティング手法の育成にも携わっている。著書には「TVCM崩壊」「リッチコンテンツマーケティングの時代」「次世代広告テクノロジー」など。ブログは、<<http://www.adinnovator.com/>> にて。

【織田氏講演について】（講演内容は予定です）

セミナーテーマ

【ニューヨーク アドテク・イノベーションの源泉】

テクノロジー事業開発ではこれまでシリコンバレーが一步進んでいたが、今日では多くのアドテク・ソーシャル・モバイル・データ関連企業や新規メディア企業がニューヨークで生まれている。ニューヨークには広告主、エージェンシー、メディア企業が新しいアドテクノロジーを求めており、顧客がすぐ近くにいる環境で開発を進められることにメリットがある。さらにインキュベーション施設も数が増えており、新たな世代のテクノロジー、新規メディア企業が次々と育っている。

ツアー冒頭のセミナーではこれら近況の説明と訪問する企業についての概要をご説明いたします。

【ad:tech について (<http://www.ad-tech.com/>)】

11月6日（水）～7日（木）ad:tech New York 会場：Javits Convention Center（ニューヨーク）

ad:tech のご視察はキーンノート（基調講演）および無料の展示ブース入場となります。別途有料セッションに参加される場合は、別途参加費がかかります。

※登録費用については順次アドテックのホームページにて提示される予定です。

詳細についてはお申し込み後に改めてご案内いたします。

【ご参考】過去実施（最近4回）の海外視察のテーマ・訪問先

	主なテーマ	訪問先
第9回米国調査 (2009年11月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ad:tech 参加 ・ インターネット広告最新動向 ・ 先端企業訪問 (SNS、ブログパーツ、インタラクティブエージェンシー等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Vitruve ・ The Rubicon Project ・ Visible World ・ Forbes.com LLC ・ Media 6 Degrees ・ Mother New York
第10回米国調査 (2010年11月)	視察テーマ「～リアルタイムマーケティングの時代～」 <ul style="list-style-type: none"> ・ ad:tech 参加 ・ インターネット広告最新動向 ・ 先端企業訪問 (SNS、ブログパーツ、インタラクティブエージェンシー等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ AcrossAir ・ Brilig ・ DataXu ・ RapLeaf ・ Buddy Media ・ Firstborn
第11回米国調査 (2011年11月)	視察テーマ「進化するリアルタイムマーケティング ～モバイル・ソーシャル・アドエクスチェンジがもたらす Always On マーケティング～」	<ul style="list-style-type: none"> ・ Sonar ・ Big Fuel ・ Big Spaceship ・ GroupCommerce ・ SeamBI ・ Trilibis Mobile ・ Cadreon ・ Wall Street Journal ・ eXelate ・ ad:tech NY2011
第12回米国調査 (2012年11月)	視察テーマ「広告・メディアテクノロジーR&D」 ～アドエクスチェンジ、ソーシャルメディア、モバイルでの新規テクノロジー、メディアを生み出す環境～	<ul style="list-style-type: none"> ・ AppNexu ・ Google Creative Lab ・ Tumblr ・ Percolate ・ DeepFocus ・ Pinfluence ・ AdTruth ・ Fiksu ・ MIT Media Lab ・ C3Metrics ・ Mullen ・ ad:tech NY2012

ご旅行条件（要約）

お申し込みの際には、必ず旅行条件書（全文）をお受け取りいただき、事前に内容をご確認の上お申し込みください。

●募集型企画旅行契約

この旅行は（株）JTBコーポレートセールス（東京都新宿区西新宿3-7-1 観光庁長官登録旅行業第1767号。以下「当社」という）が企画・実施する旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約（以下「旅行契約」という）を締結することになります。また、旅行条件は、下記によるほか、別途お渡しする旅行条件書（全文）、出発前にお渡しする最終日程表と称する確定書面及び当社旅行業約款募集型企画旅行契約の部によりします。

●旅行のお申し込み及び契約成立時期

- (1) 所定の申込書に所定の事項を記入し、下記のお申込金を添えてお申し込みください。お申込金は、旅行代金お支払いの際差し引かせていただきます。
- (2) 電話、郵便、ファクシミリその他の通信手段でお申し込みの場合、当社が予約の承諾の旨通知した翌日から起算して3日以内に申込書の提出と申込金の支払をしていただきます。
- (3) 旅行契約は、当社が契約の締結を承諾し、お申込金を受領したときに成立するものとします。
- (4) お申込金（おひとり）100,000円

●旅行代金のお支払い

旅行代金は旅行出発日の前日からさかのぼって21日目にあたる日より前（お申し込みが間際の場合は当社が指定する期日までに）にお支払ください。また、お客様が当社提携カード会社のカード会員である場合、お客様の署名なくして旅行代金、取消料、追加諸費用などをお支払いただくことがあります。この場合のカード利用日は、お客様からお申し出がない限り、お客様の承諾日といたします。

●取消料

旅行契約成立後、お客様の都合で契約を解除されるときは、次の金額を取消料として申し受けれます。（お1人様）

契約解除の日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目にあたる日以降3日目にあたる日まで	旅行代金の20%
旅行開始日の前々日～当日	旅行代金の50%
旅行開始後又は無連絡不参加	旅行代金の100%

* 貸切航空機を利用する旅行、日本出国時及び帰国時に船舶を利用する旅行及び旅行日程中に3泊以上のクルーズ船泊を伴う旅行に関しては、上記の表によらずコースページ内に記載する取消料に拠ります。

●旅行代金に含まれるもの

* 旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金（注釈のないかぎりエコノミークラス）* 旅行日程に明示した観光の料金（バス料金・ガイド料金・入場料金）* 旅行日程に明示した宿泊の料金及び税・サービス料金（ツインまたはダブルルームに1人ずつの宿泊を基準とします。）* 旅行日程に明示した食事の料金及び税・サービス料金* 航空機による手荷物運搬料金* 現地での手荷物運搬料金（一部含まれないコースがあります。また、一部の空港・ホテルではお客様自身で運搬していただく場合があります。）* 添乗員同行コースの同行費用* 渡航手續関係費用 これらの費用は、お客様の都合により一部利用されなくても原則として払い戻しいたしません。* ad:tech登録料（Keynote Pass）

●旅行代金に含まれないもの

前項のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。
* 超過手荷物料金* クリーニング代、電話電報料、ホテルのボーイ・メイド等に対する心付け、その他追加飲食等個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金* オプションツアー料金* 日本国内におけるご自宅から発着空港等集合・解散時点までの交通費・宿泊費* ESTA 電子渡航認証システム代行申請代金* 燃油特別付加運賃（目安47,000円）、国内空港施設使用料（2,040円）および旅客保安サービス料（500円）、海外空港諸税（概算5,870円）（※いずれも8月1日現在の額です）

●特別補償

当社は、当社又は当社が手配を代行させた者の故意又は過失の有無にかかわらず、募集型企画旅行約款別紙特別補償規程に基づき、お客様が募集型企画旅行参加中に急激かつ偶然な外来の事故により、その身体、生命又は手荷物上に被った一定の損害について、以下の金額の範囲において、補償金又は見舞金を支払います。

- ・ 死亡補償金：2500万円
- ・ 入院見舞金：4～40万円
- ・ 通院見舞金：2～10万円
- ・ 携行品損害補償金：お客様1名につき～15万円（但し、補償対象品1個あたり10万円を限度とします。）

●「通信契約」を希望されるお客様との旅行条件

当社提携クレジットカード会社のカード会員（以下「会員」といいます。）より「会員の署名なくして旅行代金や取消料等の支払いを受ける」とこと（以下「通信契約」といいます）を条件にお申し込みを受けた場合通常の旅行条件とは以下の点で異なります。（受託旅行者により当該取扱ができない場合があります。）

- (1) 契約成立は、当社が電話又は郵便で旅行契約の締結の承諾通知を発信したとき（e-mail等電子承諾通知を利用する場合は、その通知がお客様に到達したとき）とします。また申込時には「会員番号・カード有効期限」等をご通知して頂きます。

- (2) 「カード利用日」とは旅行代金等の支払い又は払戻し債務を履行すべき日をいいます。旅行代金のカード利用日は「契約成立日」とします。また取消料のカードの利用日は「契約解除依頼日」とします。（但し、契約解除依頼日が旅行代金のカード利用日以降であった場合は、当社は旅行代金から取消料を差し引いた額を解除依頼日の翌日から起算して7日間以内をカード利用日として払い戻します。）
- (3) 与信等の理由により会員のお申し出のクレジットカードでのお支払いができない場合、当社は通信契約を解除し、規定の取消料と同額の違約料を申し受けれます。ただし、当社が別途指定する期日までに現金による旅行代金のお支払いをいただいた場合はこの限りではありません。

●旅券・査証について

（日本国籍以外の方は、自国の領事館、渡航先国の領事館、入国管理事務所にお問合せください。）

1. 旅券（パスポート）：この（パンフレット記載の）旅行には、帰国時までに有効な（入国時90日以上が望ましい）IC旅券又は機械読取式旅券が必要でです。
2. 査証（ビザ）：この（パンフレット記載の）旅行には、査証は不要です。但し、米国では短期滞在査証免除国の国民が査証免除対象として入国する際、渡航72時間前までにインターネットを通じて査証免除可否チェックを受けるシステム（電子渡航認証システム、以下「ESTA」）でも申請を義務付けております。（申請には14米ドルの費用がかかります）登録は専用のウェブサイト <https://esta.cbp.dhs.gov/>より行い、認証が拒否された場合は査証の取得をしない限り航空機への搭乗や入国が出来なくなりますので、早めに登録手続きをお願いします。また、認証拒否ならびに査証未取得に伴う旅行取り消しについては、所定の取消料がかかります。なお、ESTAでの認証は米国入国認証ではないため、入国時の入国審査は従来通り行われます。情報は2012年11月1日現在となり、予告なく変更となる場合がありますので、旅行申込販売店へ必ず最新情報をご確認ください。

●保健衛生について

渡航先の衛生状況については、厚生労働省「感染症発生情報」ホームページ：<http://www.forth.go.jp/>でご確認ください。

●海外危険情報について

渡航先（国又は地域）によっては、外務省「海外危険情報」等、国・地域の渡航に関する情報が発表されている場合があります。お申し込みの際に販売店より「海外危険情報に関する書面」をお渡しいたします。また、「外務省海外安全ページ」：<http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>でもご確認ください。

●海外旅行保険への加入について

海外において、病気・けがをした場合、多額の治療費、移送費等がかかることがあります。また、事故の場合、加害者への損害賠償請求や賠償金の回収が大変困難であるのが実情です。これらの治療費、移送費、また、死亡・後遺障害等を担保するため、お客様自身で充分な額の海外旅行保険に加入することをお勧めします。海外旅行保険については、販売店の係員にお問合せください。

●空港諸税について

渡航先の国又は地域によっては、その国の法律などにより渡航者個人に対して空港税等（出国税、空港施設使用料、税関審査料等）などの支払が義務付けられています。各コースに表示されている旅行代金には、空港税等は含まれておりませんので、別途お支払いが必要です。（当社が日本円で収受する場合は、ご出発の35日前に、水～土曜日発は5週間前、月曜日午前中の終値、日～火曜日発は6週間前、月曜日午前中の終値（いずれも三菱東京UFJ銀行売渡レート）により換算し、確定いたします。）

●事故等のお申出について

旅行中に、事故などが生じた場合は、直ちに同行の添乗員・ガイド、または、最終日程表でお知らせする連絡先にご通知ください。（もし、通知できない事情がある場合は、その事情がなくなり次第ご通知ください。）

●個人情報の取扱について

- (1) 当社及び販売店は、旅行申込の際に提出された申込書等に記載された個人情報について、お客様との間の連絡のために利用させていただきます。ほか、お客様がお申し込みいただいた旅行において運送・宿泊機関等の提供するサービスの手配及びそれらのサービスの受領のために手続に必要な範囲内で利用させていただきます。
- (2) 当社は、旅行先でのお客様のお買い物等の便宜のため、お客様の保有するお客様の個人情報をご提供させていただきます。この場合、お客様の氏名、パスポート番号及び搭乗される航空便名等に係る個人情報をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供いたします。なお、これらの個人情報の提供の停止を希望される場合は、お申込店に出発前までにお申し出ください。

●旅行条件・旅行代金の基準

この旅行条件は2013年8月1日を基準としています。又、旅行代金は2013年8月1日現在の有効な運賃・規則を基準として算出しています。

— お問い合わせ・お申込みは —

株式会社JTBコーポレートセールス 本社営業部 第八事業部 営業第一課

〒163-1066 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー27F

電話：03-5909-8114 FAX：03-5909-8139 E-MAIL: y_shirai255@bwt.jtb.jp

担当：白井（シライ）・深澤（フカザワ）／ 総合旅行業務取扱管理者：小林 正樹

[営業時間]午前9時30分から午後5時30分（土曜・日曜・祝日休業）

総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う営業所での取引の責任者です。この旅行の契約に関し、担当者からの説明にご不明な点がございましたら、ご遠慮なく上記の総合旅行業務取扱管理者にご質問ください。

企業候補

(これはあくまで候補で保証ではありません。交渉の上、アレンジしてまいりますので代替企業の訪問となる場合がございます。予め御了承願います。)

●IPG Media Lab <エージェンシー>

世界第4位の広告会社ホールディング企業の Interpublic Group は傘下に新規メディア・テクノロジーをクライアントに体験させてり、利用ケースを示すための IPG Media Lab を NY・SF で展開している。スタートアップへの投資もここを介して行っている。

●Sapient Nitro <エージェンシー>

全米トップの売上げを誇るデジタルエージェンシー。独立系で世界でも4位に入っている。元々Sapient はテクノロジー開発やシステム業務などをクライアントに提供してきたが、Nitro の買収でブランディング業務にも力を入れ、Fiat, Maybelline, Dunkin' Donuts など多数の企業の業務を担当してきた。

●Vivaki <エージェンシー>

世界第3位の広告ホールディング企業 Publicis Groupe のデジタル・メディア部門であり、またトレーディングデスクを運用している。新規テクノロジーに関しての評価、導入、パートナーシップ構築業務なども行っている。

●MediaOcean <アドテク>

アメリカではTV、印刷媒体などのマス広告の購買ツールが60年代から使われており、その2つの競合企業であった Donovan Data Systems と MediaBank が合併し、年間1300億ドルのメディア予算を管理するオフライン・オンライン購買ツール企業 MediaOcean と なった。彼らのデジタル戦略、アジア戦略について聞く。

●BuzzFeed <メディア>

ソーシャルメディア時代のメディア企業として、バイラルするビデオ、画像、リンク、テキストなどのコンテンツをスタッフ、広告主、読者と共に制作している。同社は、早くから今業界で話題のネイティブ広告フォーマットを導入して、広告主のコンテンツのバイラル拡散をサポートしている。

●Simulmedia <TV>

オーディエンス購買は、TVCMにまで広がっている。ネットの考え方をTVに導入し、全米1億1500万世帯へリーチするTVCMに詳細なオーディエンス 行動データを導入するシステムをTV局、広告主・エージェンシーに提供するのが Simulmedia である。

●Rebel Mouse/Soho Tech Lab <ソーシャル・インキュベーター>

The Huffington Post の元CTOが立ち上げたテクノロジーインキュベーションオフィスで、最初の企業 Rebel Mouse についての話を聞く。Rebel Mouse は、企業がソーシャルメディアまとめページを簡単につくるためのプラットフォームを提供している。

●IMRSV <新規テクノロジー>

顔認識テクノロジーを利用して、リアル環境における解析サービスを提供する企業。PCやタブレット、スマートフォンなどのカメラを利用して、ユーザーのデモグラフィックやエンゲージメントなどの測定が可能。

●PlaceIQ <モバイル>

ロケーションと時間帯データを統合して、オーディエンスをセグメント化するサービスを提供。ロケーションデータという新たなターゲティングのためのデータがどのように米国で使われているかを尋ねる。

●Tremor Video <ビデオ>

ビデオ広告売上のプラットフォームを提供すると同時に、米国7位のビデオアドネットワークを運営する企業。タブレット、スマートTVへの進出し急成長するアメリカのビデオ広告業界の状況を尋ねる。

ただし、上記は訪問を保証するものではありません。